

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【公表番号】特表2011-500905(P2011-500905A)

【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-529297(P2010-529297)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 L 33/08 (2006.01)

C 0 8 K 5/13 (2006.01)

C 0 8 K 5/159 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 33/08

C 0 8 K 5/13

C 0 8 K 5/159

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

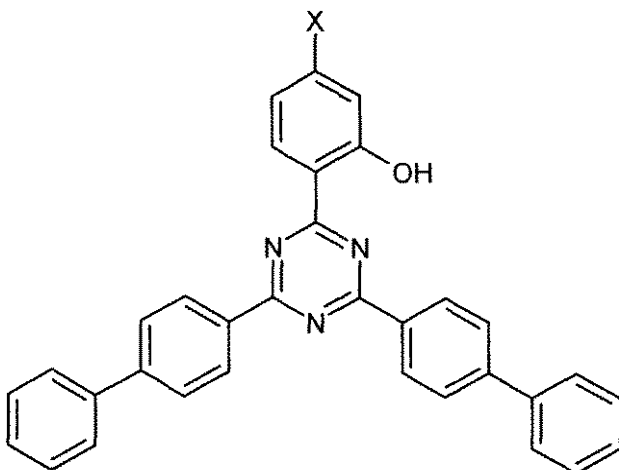
【請求項1】

(a) 熱可塑性樹脂基材とシロキサンベースのトップコートとの間の接着の促進剤として好適であり、(a1) バインダー材料、(a2) 溶媒、および(a3) 紫外線吸収剤を含有するプライマー組成物、100000重量部；

(b) 溶媒0~900000重量部；並びに

(c) 式(I)

【化1】



(I)

(式中、

X = OR<sup>6</sup>、OCH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OR<sup>6</sup>、OCH<sub>2</sub>CH(OH)CH<sub>2</sub>OR<sup>6</sup> または OCH(R<sup>7</sup>)COOR<sup>8</sup> であり、

$R^6$  = 分枝もしくは非分枝  $C_1 \sim C_{13}$  - アルキル、 $C_2 \sim C_{20}$  - アルケニル、 $C_6 \sim C_{12}$  - アリールまたは - CO -  $C_1 \sim C_{18}$  - アルキル、  
 $R^7$  = H または分枝もしくは非分枝  $C_1 \sim C_8$  - アルキル、かつ  
 $R^8$  =  $C_1 \sim C_{12}$  - アルキル； $C_2 \sim C_{12}$  - アルケニルまたは  $C_5 \sim C_6$  - シクロアルキル  
 である。）

の化合物、1 ~ 3000 重量部

を含有し、DIN EN ISO 2431 に従って 23 において直径 2 mm のノズルを有するフローカップを用いて測定される粘度が 40 秒 ~ 140 秒である組成物。

【請求項 2】

(a3) ジベンゾイルレソルシノールを紫外線吸収剤として含有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

2 - [ 2 - ヒドロキシ - 4 - [ ( オクチルオキシカルボニル ) エチリデンオキシ ] フェニル - 4 , 6 - ジ ( 4 - フェニル ) フェニル - 1 , 3 , 5 - トリアジンを式 ( I ) の化合物として含有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

該プライマー組成物が ( a 1 ) ポリメチルメタクリレート、( a 2 ) 1 - メトキシ - 2 - プロパノールおよびジアセトンアルコール、並びに ( a 3 ) ジベンゾイルレソルシノールを有し、かつ、DIN EN ISO 2431 に従って 23 において 2 mm カップを用いて測定される粘度が 90 秒以上である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

( i ) ( a 1 ) ポリメチルメタクリレート、( a 2 ) 1 - メトキシ - 2 - プロパノールおよびジアセトンアルコール、並びに ( a 3 ) ジベンゾイルレソルシノールを含有するプライマー組成物 ( a ) であって、DIN EN ISO 2431 に従って 23 において 2 mm カップを用いて測定される粘度が 90 秒以上であるプライマー組成物 ( a ) を、溶媒 ( b ) と混合して約 2 重量 % ~ 9 . 5 重量 %、好ましくは 2 . 5 重量 % ~ 9 重量 % の固形分を生じる工程；

( i i ) 工程 ( i ) から得られる混合物を、( c ) 式 ( I ) の化合物 0 . 0 1 重量 % ~ 1 5 重量 %、好ましくは 0 . 1 重量 % ~ 1 0 重量 %、より好ましくは 1 重量 % ~ 7 重量 % と混合する工程；並びに

( i i i ) 工程 ( i i ) から得られる混合物をホモジナイズする工程を包含する、請求項 1 に記載の組成物の製造方法。

【請求項 6】

( i ) 請求項 1 に記載の組成物を熱可塑性ポリマーの第 1 層に塗布して第 2 層を形成する工程；

( i i ) 該組成物を硬化する工程を包含する、多層製品の製造方法。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の組成物のコート面への使用。

【請求項 8】

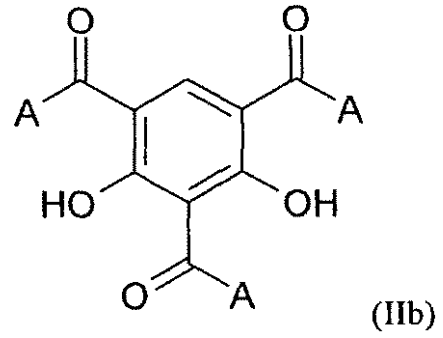
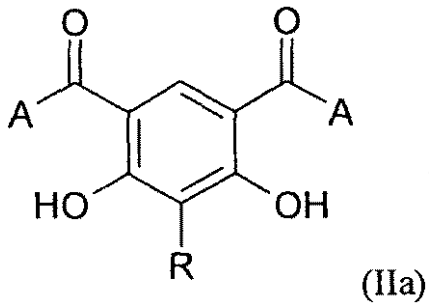
( i i i ) 熱可塑性樹脂基材と、

( i v ) 該熱可塑性樹脂基材上に配置されるプライマー層とを備える層構造体であって、該プライマー層が請求項 1 に記載の組成物を硬化することによって得られることを特徴とする、層構造体。

【請求項 9】

該プライマー層が、式 I の少なくとも 1 種類の化合物に加えて、式 ( I I a および / または I I b )

## 【化 2】



(式中、

それぞれの A は、独立して、置換もしくは非置換単環または多環芳香族基であり、該置換単環または多環芳香族基は、水素、ハロゲン、アルコキシ基、 $C_{1-8}$ -アルキル基、およびヒドロキシル基からなる群から選択される置換基を有し、かつ、

R は、水素または 10 個未満の炭素原子を有する直鎖もしくは分枝脂肪鎖である。) の少なくとも 1 種類の化合物を含有することを特徴とする、請求項 8 に記載の層構造体。